

修士(デジタル経営学)ディプロマポリシー デジタルトランスフォーメーションプログラム

国際大学学則で規定されている本学の目的と国際経営学研究科の教育研究上の目的を達成するために、デジタルトランスフォーメーションプログラム（DXP）は修士(デジタル経営学)の学位を取得するために必要な修了要件と学修の目標を次のとおり定める。

〈学修の目標と目的〉

修士(デジタル経営学)の学位課程では、以下の知識、スキル、学術的態度の修得を学位授与の条件とする。

学習・習得目標	学習・習得後のあるべき能力
社会的責任意識 学生は、関係する個人や集団が賢明かつ社会的責任を熟慮した意思決定を行うように働きかける姿勢を有する	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社会的責任を全うするリーダーシップについての概念と取るべき行動について理解していることを、場面場面における中核的な問題点や論点を明確に指摘するすることで示すことができる ■ 社会的およびビジネス的価値の創造における社会的責任に対してテクノロジーがもつ意味を理解できる
リーダーシップ 学生は、ほかの人々と効果的な協働作業を行うことができ、さらに組織全体の目標に向かって動くように他者に影響を与える能力を持つ	<ul style="list-style-type: none"> ■ リーダーシップの概念と実際の行動方策についての自分の理解を他者に示すことができる ■ 他者の発言に傾聴し、共感を示すことができる ■ 戦略的イニシアチブを取り、組織変革をリードすることができる
経営における分野別の専門知識 学生は世界各国・地域の異なった文化背景を有しているが、出自のいかんにかかわらず、有能なビジネスマネージャーたりうる基本的な経営知識を習得している	<ul style="list-style-type: none"> ■ 基本的なビジネス知識に関して十分な理解を有していることを示すことができる
テクノロジーとデジタル変革 学生は、最新のテクノロジー要素を適用して、新しいビジネスを創造したり、デジタル変革を通じて組織に競争力のある価値を追加することができる	<ul style="list-style-type: none"> ■ 最新のテクノロジーの動向を理解することができる ■ 適切なテクノロジー要素を用いてビジネスを創出し、組織に競争力のある付加価値を付けることができる ■ 組織的および環境的影響を考慮に入れながらデジタル変革を推進することができる

〈課程修了の要件〉

在学期間に関する要件

学生は、修士課程に1年(3学期間)以上在学しなければならない。

授業科目の履修及び修了に必要な単位数に関する要件

学生は、DXPで指定された履修要件に従って、指定必修科目、選択必修科目、および自由選択科を履修し、必要な単位数を取得しなければならない。修了に必要な単位数は、合計32単位以上とする。

単位認定

コースシラバスに明記された評価項目について審査したうえで、最終評価スコアが100点満点中60点以上、またはそれと同等の評価であった学生に単位を与える。

研究レポートの提出に関する要件

学生は、指導教員の指導の下で、審査基準を満たす研究レポートを完成させ、期限までに提出しなければならない。研究レポートは合格/不合格で評価される。

最終試験の要件

学生は、最終試験に合格しなければならない。この試験は、学生の指導教員が決定した実施方法により行われる。口頭試験は必要なく、試験の実施方法は指導教員が決定する。

GPAの要件

学生は最終学期の成績が確定した段階で、少なくとも2.5ポイント(4.0ポイント中)以上のGPAを取得していなければならない。